

平成27年度 事業報告書  
生活介護事業所 みどり教室

1. 基本方針

重度の障害があっても地域の中で普通に暮らせることのできる街づくりを目指し、様々な社会資源を活用しつつ、重度の障害児者が求めるサービスを提供するとともに、より困難な状況にある方々の福祉に一躍を担うべく主体的に取り組むことを基本理念とする。

サービスを実施提供するうえにおいて、障害児者の多様なニーズに対して柔軟にかつ丁寧に応えることを基本姿勢とし、粘り強くその事業及びサービスの実施を試み、最大限の努力を行うことを本会の基本方針とするものである。

私たちの姿勢について

私たちは、「障害」ということばを生きていく上での困難さと捉えその困難な状況下で精一杯生きる対象者の有する権利と人格に対して、最大の敬意をはらうとともに、私たちが行う支援が効果をあげるべく、自己研鑽を行い、私たちの職務が対象者の福祉に貢献することを喜びとして、目前にある使命を、諦めることなく熱意を持って果たしていくことが、私たちの事業に対する姿勢であることを確認する。

2. 施設<みどり教室>として大事にしていくこと

① 利用者主体

一人ひとりの想いを尊重した活動を支援します

② 安全、安心の提供

清潔、安全な環境づくりを常に心掛けます

安心感を抱き、笑顔の絶えない日常を支援します

③ 人とのつながりの中で

地域の活動を通し、施設として個人として人とのつながりを深めていくなかで充実した時間を支援します

3. 職員の姿勢として大事にしていくこと

① 1日は挨拶ではじまり、挨拶で終わります。笑顔を絶やすことなく気持のよい挨拶を心掛けます。

② サービスを担う者として相応しい『言葉遣い』や『態度』を意識します。

③ 何事にも精一杯・丁寧に取り組み真摯な態度で向き合います

④ 常に成長できる職員集団をめざします

#### 4. H27年度の取り組み

みどり教室では、平成27年度においても、全体を3グループに分け、各グループの特性をいかした目標の設定や方針を定め、さまざまなプログラムを取り入れ日中の活動を行いました。

##### <グループ活動報告>

##### ① 1グループ

作業を日中活動の基本として捉え、内職・作品制作を中心に行った。あらたに迎えた利用者の特性を把握し、その特性にあった取り組みを模索することが、従来の利用者の取り組みを見直すこととなった。結果、より個別的な関わり（ひとりひとりに合った作業道具やスケジュールの作成等）を持つことができた。しかし、昨年から取り組んだ野菜チップスでは、昨年、コンベンションで焼き上げることで酸化による商品の劣化に対応するなど、一定の成果を得ることができたが、今年度に関しては、食感の調整や味の統一等、商品化に向けて取り組んだものの完成には至らなかった。趣味の活動においては、音楽や手話、絵画など、作品展への出展やイベントでの発表を目標に、意欲的に取り組み、好評を得ることができ満足につながった。

##### ② 2グループ

作業を社会人としての役割を意識するきっかけの1つとして捉え、日中の活動の中心として取り組んだ。個々のペースを大切にしながら、できること・やってみたいこと・できるようになりたいことを整理し成長や達成感を促せるような支援をめざした。結果、保護者や関係機関との連携強化信頼の構築につなげることができた。しかし取り組みとしては、整理だけでは不十分であり、次年度は具体的な取り組みを行いたい。販売活動においては定期的に販売を行うことにより、販売への意識が高まった。趣味の活動では、利用者の主体的な意見を取り入れながら陶芸や調理などを行い、仕上がりをしっかり確認し、楽しみながら達成感が得られるよう配慮した。

##### ③ 3グループ

作業が日中活動の大半を占め、内職作業においては納入期限を守りながら指定された個数を仕上げた。また、今年度は、利用者ひとりひとりに合ったプログラムを構成し、作業にこだわらず、ソーシャルなスキルの獲得を目指した。洗い物・洗濯・掃除等、日中の活動の中に取り入れ、楽しみながら取り組んだ。次年度も引き続き取り組んでいきたい。趣味の活動では、スポーツや絵画、調理などを通して利用者通しが交流できる、楽しく笑いあふれる時間を提供し、仲間づくりを支援した。

#### 5. 健康衛生管理

利用者の障害・健康の状態を的確に把握し、看護師と連携し疾病の予防、健康の増進に努めました。（健康・衛生計画表参）

## 健康・衛生計実施報告

	内 容	実 施	備 考
健康診断	血液・尿検査内診等	H27年2月～3月	仲原クリニック
0 T	姿勢管理等	月4回 毎週火曜日	作業療法士
健康チェック・相談	血圧測定・検温	月4回 毎週木曜日	看護師・医師
理容・美容	散髪・洗髪等	月1回 第2火曜日	訪問理容 (KAMIYA)

### 6. 施設運営管理

#### ① 利用定員

生活介護事業所（定員20名） 利用者 25名（3月末）

#### ② 職 員

施設長、生活支援員（常勤・非常勤） 調理員、調理補助、看護師、作業療法士

### 7. 防災関係

防災計画を作成し、防災訓練を実施しました。

#### 〈防災訓練報告〉

H27年 7月 防災について、防災設備確認、点検、通報訓練  
 H27年 9月 避難、誘導訓練（利用者・職員）  
 H27年10月 避難、誘導訓練（利用者・職員）  
 H28年 3月 避難、誘導訓練（利用者・職員） 子育てプラザ合同

### 8. 工 賃

毎月25日に工賃を支払いました。（H27年度月額平均：1,724円）

### 9. 会議等について

みどり教室においては、代表者会議・調整会議・定例会議・ケース検討会議・全体ミーティング・グループミーティングを開催し、円滑な活動の遂行を計りました。

#### ■代表者会議 <2月・7月>

- ①年間行事の決定
- ②ケース会議の開催及び件数等決定

#### ■ケース検討会議<月1回程度>

- ①各ケースの方向性について

#### ■調整会議<月1回程度>

- ①月間行事及び予定の決定

#### ■定例会議<月2～3回>

- ①各行事の内容検討等

#### ■全体ミーティング<毎日>

- ①毎日の連絡事項

#### ■グループミーティング毎日

- ①1日の取り組みについての反省及び評加

## 10. ボランティア・実習生関係

### ①ボランティア

ボランティアを受け入れるにあたっては、わかりやすい冊子（ハンドブック）を作り、主旨等の説明を行いました。今年度も昨年同様行事への参加ボランティアのみにとどまりましたが、作品展・バザーにおいては、地域行事との合同開催（つながりフェスタ）にともない他施設職員も含め4名増の8名のボランティアを受け入れました。

### ②実習生

市立中学校がおこなっている中学2年生福祉及び職業体験の受け入れを行いました。

### ③特別支援学校

東住吉特別支援学校等、夏休み一日体験の受け入れを行いました。

## 11. 行事報告

H27年度行事については計画書に基づき下記のとおり実施しました。

		内 部 行 事	外 部 行 事	
4月			26	西六まつり横丁
			29	どっぷり昭和町
5月	13	外出レクリエーションいちご狩り	21	大阪ガスチャリティバザー
	15	外出レクリエーション新歌舞伎座観劇『前川清』	24	阪南青空マーケット
6月	13	みどり教室作品展・バザー		
	18~19	外出レクリエーション一泊旅行信太山野外活動センター①		
	22~23	外出レクリエーション一泊旅行信太山野外活動センター②		
7月	7	外出レクリエーションシティープラザ大阪		
	23	外出レクリエーション劇団四季『ライオンキング』		
	30	外出レクリエーション祥福の湯		
8月	6	外出レクリエーション京都万華鏡ミュージアム		
	26	外出レクリエーション新歌舞伎座観劇『新・水滸伝』		
9月	30	外出レクリエーション三輪そうめん山本①		
10月			1	大阪ガスチャリティバザー
	2	外出レクリエーション三輪そうめん山本②		
	14	外出レクリエーション富田林サバーファーム		
	21	外出レクリエーション新歌舞伎座観劇『松平健』	30	阿倍野つながりフェスタ
	22	外出レクリエーション南港魚つり園	3	
	29	外出レクリエーションみさき公園①		
11月	8	外出レクリエーション神戸動物園	3	阿倍野区民体育祭
	9	外出レクリエーションみさき公園②	7	第15回文化祭アート展

	19	外出レクリエーション		第8回みんなの作品展
12月			7	長居スポーツセンタークリスマス集い
			19	クリスマスイブイブコンサート
1月			23	日中活動系事業所説明会
2月	15	外出レクリエーション吉本新喜劇		
3月	20	外出レクリエーションインスタントラーメン発明記念館		
	26	交流会		

## 1 2. 地域との連携

地域への取り組みとして、今年度もさまざまな行事への参加および各団体との連携に努めました。地域活動協議会のご協力の中、『清明が丘ふれあい喫茶』での作品販売や『希望の森』でのワークショップなど行いました。地域の高齢者の皆さんとの交流を通じて、会話が生まれ、笑顔が生まれました。

<地域参加行事>

西六まつり横丁、 阪南青空マーケット、どっぷり昭和町、日中活動系事業所説明会  
阿倍野つながりフェスタ、阿倍野区民体育祭、

## 1 3. 研修報告

H 2 7 年度研修については下記のとおり実施しました。

5月 発達障がい者支援センター 「発達障がいのある成人期の支援について」  
大阪府集団指導

6月 医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム ステージⅡ

7月 「地域調整システムを理解し地域の課題に取り組む」

阿倍野区施設連絡会研修 北摂杉の子会「萩の杜」施設見学

大阪発達総合医療センター「重症心身障がい児者に対する医療的ケア研

修」

阿倍野区施設連絡会研修 「障がい者虐待について」

8月 自閉症カンファレンスNIPPON 2 0 1 5

大阪重症心身障害児者を支える会「障がい児者の咀嚼・嚥下について」①

9月 重心サポーター 泉州ミーティング「ケースを通して学ぶ」

阿倍野区自立支援協議会 STEP 1

「心のケアが必要な方とともに暮らすために」

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（初任者コース）

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（チームリーダーコース）

1 0 月 リスクマネジメント研修

1 1 月 大阪重症心身障害児者を支える会「障がい児者の咀嚼・嚥下について」②

阿倍野区自立支援協議会 STEP2「アルコール依存について」

阿倍野区自立支援協議会 STEP3「最近のアルコール問題について」

平成27年度第 1 回阿倍野区施設連絡会初任者研修会「施設とのつながり」①

- 1 2月 障がいのある人が地域で暮らすために  
「強度行動障がいの軽減への取り組み」  
平成27年度第2回阿倍野区施設連絡会初任者研修会「施設とのつながり」②  
阿倍野区施設連絡会研修会 「障がい者の権利擁護を考える」
- 1月 てんかんの基礎講座「てんかんについての知識を学ぶ」
- 2月 パーソナリティ障がいの理解と対応について  
阿倍野区施設連絡会研修会  
「生活困窮者自立支援制度によるこれからの可能性と課題」  
災害時の要援護者に対する支援セミナー ～ 東北から神戸に ～  
福祉の現場OJT推進研修 「OJTの重要性を理解する」  
平成27年度第3回阿倍野区施設連絡会初任者研修会  
「グループディスカッション」  
大阪重症心身障害児者を支える会  
「対人援助職に関わるメンタルヘルスについて」
- 3月 障がい者虐待防止について考える ～利用者主体の支援とは～  
大阪重症心身障害児者を支える会 実践発表研修会

#### 1 4. その他

- ①ひやりハット報告書の作成 ( H 2 7年度報告件数 : 56件 )  
日常の中で気づくひやりハットにについて報告記録し事故防止に努め、毎日のミーティングにおいて確認し記録を行いました。
- ②事故報告書の作成 ( H 2 7年度報告件数 : 1件 )  
事故が発生した際には正確に検証・記録し、事故の再防止を図りました。